

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年5月24日 (2018.5.24)

【公開番号】特開2017-188438(P2017-188438A)

【公開日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-52876(P2017-52876)

【国際特許分類】

H 0 1 B 3/30 (2006.01)

C 0 8 L 79/08 (2006.01)

C 0 8 L 39/04 (2006.01)

C 0 8 G 73/10 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 B 3/30 D

C 0 8 L 79/08 Z

C 0 8 L 39/04

C 0 8 G 73/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月9日 (2018.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

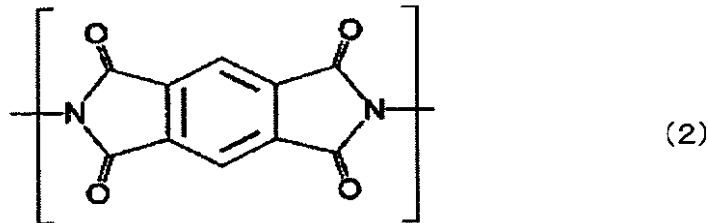
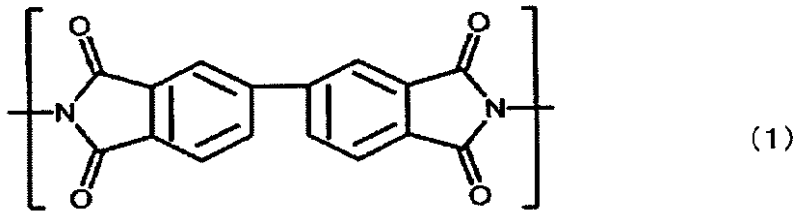
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリイミド樹脂及び／またはその前駆体と側鎖に複素環を有するポリマーとを含み、該ポリイミド樹脂及び／またはその前駆体が下記式（１）で表される構造単位及び下記式（２）で表される構造単位の少なくとも一方を有し、かつ該ポリイミド樹脂及び／またはその前駆体 100 重量部に対して該側鎖に複素環を有するポリマーを 0.1 ～ 7 重量部含む絶縁被覆材用樹脂組成物。

【化 1】



【請求項 2】

前記側鎖に複素環を有するポリマーが、ポリビニルピロリドン、ポリビニルピリジン、並びに、ビニルピロリドン及びビニルピリジンの少なくとも一方を共重合成分として含む共重合体よりなる群から選ばれる 1 種又は 2 種以上である、請求項 1 に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

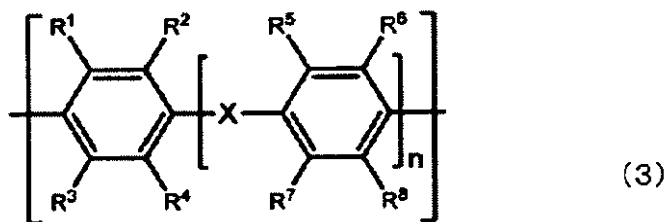
【請求項 3】

前記ポリイミド樹脂及び / またはその前駆体のガラス転移温度 (T_g) が $250 \sim 400$ である、請求項 1 又は 2 に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

【請求項 4】

前記ポリイミド樹脂及び / またはその前駆体が下記式 (3) で表される構造単位を有する、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

【化 2】



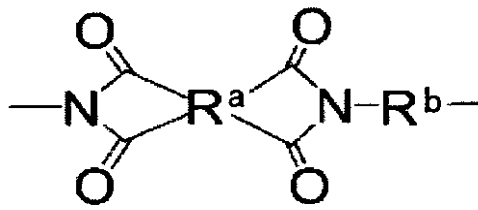
(上記式 (3) 中、 $R^1 \sim R^8$ はそれぞれ互いに同一であっても異なってもよく、水素原子、炭素数 1 ～ 4 のアルキル基、炭素数 1 ～ 4 のフルオロアルキル基又は水酸基であり、 X は直接結合、酸素原子、硫黄原子、炭素数 1 ～ 4 のアルキレン基、スルホニル基、スルフィニル基、スルフィド基、カルボニル基、エステル基又は 2 級アミノ基であり、 n は 0 ～ 4 の整数である。)

【請求項 5】

前記ポリイミド樹脂及び / またはその前駆体が、下記式 (5) で表される構造を含む繰り返し単位と、 $-NH-$ 、 $=NH$ 、 $-C(O)NH-$ 、 $-NHC(O)O-$ 、 $-NHC(O)NH-$ 、 $-NHC(S)NH-$ 、 $-NH_2$ 、 $-OH$ 、 $-C(O)OH$ 、 $-SH$ 、 $-C(O)N(OH)-$ 、 $-(O)S(O)-$ 、 $-C(O)-$ 、及び $-C(O)SH$ からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の構造を含む繰り返し単位とを有する、請求項 1 乃至 4 の

いずれか 1 項に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

【化 3】



(5)

(上記式(5)中、 R^a はテトラカルボン酸残基、 R^b はジアミン残基を表す。)

【請求項 6】

前記ポリイミド樹脂及び/またはその前駆体が、前記式(5)で表される構造を含む繰り返し単位と、 —C(O)NH— 構造を含む繰り返し単位とを有する、請求項 5 に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

【請求項 7】

前記 —C(O)NH— 構造が、4,4'-ジアミノベンズアニリドに由来する構造である、請求項 6 に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

【請求項 8】

前記ポリイミド樹脂及び/またはその前駆体は、分子末端が封止されている、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の絶縁被覆材用樹脂組成物からなる樹脂層を少なくとも有する金属被覆材。